

「福島と長崎を結ぶ会」:(下記、同会のブログ及び会報等より)紹介

目的

原子力エネルギーに頼らず自然の再生可能エネルギーの社会を見据え、福島第1原発事故による放射能汚染に直面している人々にたいして、原爆被爆による惨禍を経験した長崎県民・市民としての視点からの支援、交流をおこないます。

活動内容

福島原発事故の放射能汚染にたいする人々の不安に被爆地長崎の県民・市民として向き合い、共に考える活動をおこないます。

福島県民との交流を進めます。

福島県民への物心両面での支援を市民レベルでおこないます。

福島の高校生や若者との交流を通して、福島と長崎の若者交流を進めます。

そのほか、会の目的にあった活動をおこないます。

連絡先

〒850-0052 長崎市筑後町2-1教育文化会館内・平和活動支援センター内

2012年に発足。これまで、ドキュメンタリー映画上映、福島の高校生との交流、福島の被災地視察、写真展などに取り組む。今年の3月には他の市民団体とも協力して、「被災地と心をつなぐ集い」(爆心地公園で追悼)、「福島と長崎を結ぶ集いフクシマの今を考える」(ALPS 処理水=トリチウム汚染水の海洋放出の問題など報告と討論)を開催した。

平野伸人氏紹介

氏は核兵器廃絶の署名を国連機関へ届ける高校生平和大使の「生みの親」20年以上続いている。被爆2世で元小学校教諭、在韓被爆者支援や数々の平和運動を仕掛けてきた。

(今回、福島を交流・訪問する三人は、いずれも「被爆二世」です。)